**継続的専門能力開発(CPD)実績の記録（Ａ）**

**氏名**：　　　　　　　　　　　　　**登録番号**：

＊自身が行った専門能力開発(ＣＰＤ)について、以下の該当欄に記入し必要書類を添付して提出してください。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 専  門  能  力  開  発  の  方  法 | **１．JRCA登録CPDコース、JRCA講演会への参加**  ●以下を記入し、それぞれの研修の「修了証」（“JRCA登録”と記載があるもの）もしくは「参加証明」を添付すること。（コピー可）  注１）ISMS審査員の2022年版移行を「修了証」のみで申請できるのは、「JRCA登録差分研修コース(ISMS)」の表記があるものとする。  注２）ISMS-ACの「ISO/IEC 27001:2022 差分研修会」を受講した場合もISMS-ACの「受講証」のみで申請可とする（当該欄に記入のこと）。 | | | | | | | | |
| 研修コース名称 | | 開催日 | | 研修機関 | | | 修了証 | 時間 |
| ① | |  | |  | | | □添付 |  |
| ② | |  | |  | | | □添付 |  |
| ③ | |  | |  | | | □添付 |  |
| **２．IAF加盟認定機関から当該MSの認定を受けているMS認証機関が主催する研修等（所属する審査員を対象としたもの）への参加**  ●以下を記入し、それぞれの研修等の「プログラム」（コピー可）を添付すること。（休憩時間をCPDの時間に含めることは不可）  ●さらに、それぞれの研修の「修了証」（コピー可）を添付、又は以下の証明欄にMS認証機関責任者の署名又は記名押印を受領すること。  注1）上記の修了証/責任者証明に代えて、「CPD実績の記録B」(様式4B) の提出でも可とする。  注2）ISMS審査員の2022年版移行のための研修等の場合は「移行」にチェックをすること。 | | | | | | | | |
| 研修等の名称 | 開催日 | | MS認証機関 | | | ISMS2022年移行 | ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ | 時間 |
|  |  | |  | | | □移行 | □添付 |  |
|  |  | |  | | | □移行 | □添付 |  |
| ③ |  | |  | | | □移行 | □添付 |  |
| 上記のとおり、別紙プログラムに基づいて、申請者が該当するマネジメントシステム審査員としての専門能力開発に取組み、所定の事項を習得したことを証明します。  MS認証機関名：  所属・役職　：　　　　　　　　　　　　　　　　 氏名：＿＿＿＿＿\_\_\_＿＿＿＿＿ 　印 | | | | | | | | |
| **３．その他（上記１,２以外）の研修・セミナー・講演会等への参加**  ●以下を記入し、さらにそれぞれの「CPD実績の記録B」(様式4B) を作成し添付すること。  注１）ISMS審査員補の2022年版移行の場合は「2022年版改訂規格学習の記録（ISMS審査員）」(様式4C-I)）を使用し添付すること。  ●プログラムの添付は不要。 | | | | | | | | |
| 研修・セミナー・講演会等の名称 | 開催日 | | 主催者 | | | | CPD記録 | 時間 |
| ① |  | |  | | | | □添付 |  |
| ② |  | |  | | | | □添付 |  |
| ③ |  | |  | | | | □添付 |  |
| **４．自己学習等**  ●以下を記入し、それぞれの「CPD実績の記録B」(様式4B)を作成し添付すること。  注１）ISMS審査員補の2022年版移行の場合は「2022年版改訂規格学習の記録（ISMS審査員）」(様式4C-I)）を使用し添付すること。 | | | | | | | | |
| 学習内容（使用した教材、書籍等の名称） | | | | | 実施日 | | CPD記録 | 時間 |
| ① | | | | |  | | □添付 |  |
| ② | | | | |  | | □添付 |  |
| ③ | | | | |  | | □添付 |  |
| **５．審査実績（ 審査実績によるCPD申請は,審査員補に限る ）**  ●JRCA AQ140／AE140／AI140／AO140の12項の“有効な審査実績”に該当する審査実績の場合は、「有効な審査実績証明」(様式5A)を作成し、審査スケジュール（必須：審査基準/受審組織/担当審査員の役割等が記載された時間割）を添付して提出すること。  ●上記に該当しない場合は、審査種類、日時・対象組織、審査を通じて習得した事項を「CPD実績の記録B」(様式4B)に記述し、審査スケジュールを添付して提出すること。この場合は事前準備,報告等を含む審査に要した合計時間を申請できる。 | | | | | | | | 時間 |
|  |
| **＊上記１～５のＣＰＤ時間の合計を、右欄に記入**  複数ページになった場合は1枚のみに合計時間を記入  注）資格の維持／更新の場合、主任審査員及び審査員は１５時間/年、審査員補は５時間/年、エキスパート審査員(単独登録の場合)は５時間/年のCPD実績が必要。 | | | | | | | | 合計 |
|  |

**【備考】ISMS審査員のISO/IEC27001:2022移行について**

ISMS審査員の最新規格に対応した資格での登録／移行のための「継続的専門能力開発（CPD）」提出方法には、以下の方法があります。(1)～(3)は「審査員補」「審査員」「主任審査員」「エキスパート審査員」とも共通です。(4)(5)は「審査員補」「エキスパート審査員（資格単独保有）」のみ適用可能です。

**(1) 「JRCA登録**  **ISO/IEC 27001 差分研修」への参加**

JRCA登録の ISO/IEC27001:2022の理解に関する研修コースを修了された場合は、「継続的専門能力開発実績の記録A」（様式4A）の1項に該当事項を記入し、修了証（合格証）の写しを添付して提出してください。この場合は、「2022年版改訂規格学習の記録（ISMS審査員）」（様式4C-I）の添付は不要です。

なお、修了証の提出のみで移行申請ができるのは、修了証に**「JRCA登録ISO/IEC 27001差分研修」**と表記があるものですのでご注意ください。

**(2) IAF加盟認定機関から当該MSの認定を受けているMS認証機関が主催する研修等への参加**

IAF加盟認定機関（ISMS-AC、JAB、UKAS等）からISMSの認定を受けているMS認証機関が実施した、所属する審査員を対象とするISO/IEC 27001:2022の改訂に関する研修（複数回でも可）に参加し、改訂規格の内容や必要な審査方法等に関して充分に理解された場合は、「継続的専門能力開発実績の記録A」（様式4A）の2項に該当事項を記入し、修了証又は責任者証明を添えて、さらに研修プログラム写しを添付してください。

**(3) ISMS-ACの「ISO/IEC 27001:2022 差分研修会」への参加**

ISMS-ACの「ISO/IEC 27001:2022 差分研修会」を受講された場合は、「継続的専門能力開発実績の記録A」（様式4A）の1項に該当事項を記入し、ISMS-ACの証明のある受講証の写しを添付して提出してください。この場合は、「2022年版改訂規格学習の記録（ISMS審査員）」（様式4C-I）の添付は不要です。

**(4) 一般研修への参加**

上記(1)､(2)以外の研修、セミナー、講演会等に参加された場合は、「継続的専門能力開発実績の記録A」（様式4A）の3項に該当事項を記入し、習得内容を記述した「**2022年版改訂規格学習の記録(ISMS審査員)**」（様式4C-I）を提出してください。研修プログラム写しの添付は必要ありません。

**(5) 自己学習等**

規格や専門図書、グループ活動、インターネット利用等により自己学習された場合は、「継続的専門能力開発実績の記録A」（様式4A）の4項に該当事項を記入し、習得内容を記述した「**2022年版改訂規格学習の記録(ISMS審査員)**」（様式4C-I）を提出してください。

以上